

第35回 洛和会ヘルスケア学会

2025年10月19日（日） 口演TQM発表

看護学科教員 業務内容の統一化

洛和会京都看護学校

TQM委員会 阪口和哉

【問題点・背景】

教員の業務が多岐にわたり
学生へ関わる時間の確保が困難



【令和6年度の成果と課題】

- ・ 看護教員の業務を可視化できた
- ・ 教員が行わなくてもよい業務が明確になった
- ・ 教員間で業務の認識の差があった

【目的】

専任教員、実習指導教員（以下、教員）の業務の
統一化

【目標】

教員がすべき業務を実行レベルで洗い出し、業務
内容の標準化と担当者の明確化を図る。

【方法】

教員業務の分類

令和6年度

大項目	中項目	責任部署
カリキュラム	時間割作成・調整・配信	教務
	カリキュラム会議	教務
	シラバス関連	教務
	学生便覧編集・印刷・発注・配布	教務
	教科書選定・発注・配布	教務

実行レベルに細分化

担当教員の明確化

令和7年度

教務担当部分の小項目（実行表）

大項目	中項目	小項目	看護学科				助産学科	
			教務部	1年	2年	3年	管理部	管理部
カリキュラム	時間割作成 調整・配信	① 講師への依頼文書の送付	副学科長				担当者	学科長
		② 外部講師と希望日の日程調整		加担当	加担当	加担当	担当者	教員
		③ 時間割作成 17セル入力		加担当	加担当	加担当		教員
		④ 学内教員の日程調整		加担当	加担当	加担当		教員
		⑤ 時間割入力 インフォ入力					担当者	担当者
		⑥ 時間割配信		加担当	加担当	加担当		教員
		⑦ 休講時の時間割変更		加担当	加担当	加担当		教員

【結果】

教員の実行レベルの業務を洗い出し、重複業務の削減、手順の多い業務の効率化、業務内容の標準化・統一化を実行することができた。

TQMにて大項目「カリキュラム」中項目「時間割作成」に議論を集中させ、これまで遅延していた後期時間割について今年度は9月下旬に配信できた

看護学科2年													
月	週		月	火	水	木	金	土	日				
10月	1		29	30	1	2	3	4	5				
		1限			HR		小臨看Ⅱ	1/15					
		2限			在宅療養における危機管理	1/8	小臨看Ⅱ	1/15	マタニティⅡ	1/15			
		3限			精臨看Ⅰ	1/15	在宅Ⅱ	1/15	精臨看Ⅰ				
		4限											
	2		6	7	8	9	10	11	12				
		1限	成臨看Ⅱ	1/15	小臨看Ⅰ	1/15	カウンセリング	1/8	小臨看Ⅱ	2/15	小臨看Ⅱ	2/15	
		2限	臨床推論と実践	1/15	在宅Ⅰ	11/1	在宅療養における危機管理	2/8	小臨看Ⅱ	3/15	マタニティⅡ	2/15	
		3限	精臨看Ⅱ	1/15	成臨看Ⅱ		精臨看Ⅰ	2/15	在宅Ⅱ	2/15	精臨看Ⅰ		
		4限											
	3		13	14	15	16	17	18	19				
		1限	スポーツの日	小臨看Ⅰ	2/15	カウンセリング	2/8	小臨看Ⅱ	4/15	小臨看Ⅱ	3/15	看護科学論	8/15
		2限		在宅Ⅰ	12/1	在宅療養における危機管理	3/8	小臨看Ⅱ	5/15	マタニティⅡ	3/15	看護科学論	9/15
		3限		成臨看Ⅱ		精臨看Ⅰ	3/15	在宅Ⅱ	3/15	精臨看Ⅰ			
		4限											
	4		20	21	22	23	24	25	26				
		1限	成臨看Ⅱ	2/15		カウンセリング	3/8	小臨看Ⅱ	6/15	小臨看Ⅱ	4/15		
		2限	臨床推論と実践	2/15	10/19の代休	在宅療養における危機管理	4/8	小臨看Ⅱ	7/15	マタニティⅡ	4/15	水脈祭準備	水脈祭
		3限	精臨看Ⅱ	2/15		精臨看Ⅰ	4/15	在宅Ⅱ	4/15	精臨看Ⅰ			
		4限							実習ガイダンス				

【考察】

教員は専門性が高く、属人的になりがちであるが、組織として実施することの明確化・標準化を行い、かつ担当者を明確化することで効率化ができた

引き続き抽出した項目についてTQM活動を実施することで、学生教育の時間の確保が期待できる。

【結語】

教員業務は、他にも多くの大項目（進級、卒業、国家試験など）が存在する。引き続きこれらに関してもTQM活動で継続して取り組んでいる。

効率化による節約できた時間を教育活動として活用することで、国家試験合格100%を目指す。

ご清聴ありがとうございました。